

効果量と検定力<平均値の差：独立な場合>

プログラム PCalcPowerT は、アルゴリズム 5.1.1 によって効果量に対応する検定力をシミュレーションによって求めるものである。このプログラムを実行すると図 1 のフォームが現れる。

図 1

図 1 のフォームに、サンプル数、効果量、限界値を図 2 のように設定する。

図 2

値の設定後、「計算」ボタンをクリックするとアルゴリズム 5.1.1 によるシミュレーションが始まる。シミュレーションが終了すると図 3 のように結果がメモ・コンポーネントに表示される。

The screenshot shows a software window titled "Form1" with the following elements:

- Input fields: $M = 20$, $N = 20$, 効果量 = 0.8, and $Ta = 1.686$.
- Buttons: "開じる" (Close) and "計算" (Calculate).
- Text: "1000000/1000000" is displayed below the "計算" button.
- Text area (output):
計算中です
計算終了
 $countG/NSamples = 799956/1000000 = 0.799956$
 $P(t \geq Ta) = 80.00\%$

図 3